

令和6年度 有料老人ホーム鏡原偕生園・事業報告書

【経営理念】

たくさんの笑顔とありがとうに包まれた地域社会づくりに貢献する

【経営方針】

最良の福祉サービスの提供を通して、偕に生きる地域社会を創造し、もって社会に貢献する

【具体的行動指針】

- ・「自分で出来る喜び」を支援する
- ・24時間安心できる介護を提供する
- ・「あなたらしい生活」を支援する
- ・専門知識や技術を地域の皆様に提供します

【処遇方針】

- ・自立した日常生活を支援する健康管理・医療面で安心した生活を支援する
- ・最期まで尊厳を持って生きることが出来る体制づくり
- ・地域交流、地域サービス活動の積極的な推進

【数値目標】

項 目	目標値	令和6年実績
入居率	100%（54名）	100%（54名）
入居稼働率	98%	97%
シヨトスティ（空床利用）	0%	0%
身体拘束者数	0件	0件
看取り介護	希望者	12名
介護事故	20%以下	7%

【管理目標】

事故防止の徹底と健康管理の強化を図り、安全で快適に暮らせる環境づくりに努め、ご利用者のご家族の満足とともに稼働率のアップを図る。また、職員の定着と教育訓練をより強化し、質の高い施設職員として安定したサービスの提供を行う。

【事業計画】

1. 事故防止の徹底と管理
2. 健康管理の強化、感染症予防及びまん延の防止のための措置
3. マネジメントの運用改善
4. 身体拘束廃止・虐待防止の徹底と管理
5. 余暇活動の充実
6. 人材育成と資格取得支援
7. 顧客満足度の向上（苦情処理委員会）
8. 家族会との連携
9. 認知症ケアの取り組み
10. 事業継続計画作成、非常災害対策への取り組み
11. 協力医療機関体制を定める
12. ハラスメント対策
13. 施設内看取り介護実施

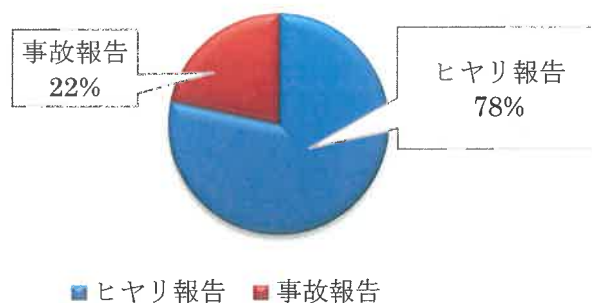
【処遇計画】

1. 事故防止の徹底と管理

達成率 100%

- ①事故報告書・ヒヤリハット報告書に基づき集計・分析を行い原因と再発防止に向けた対策を実施した。大きな介護事故に繋がるケースは無く予防対策が有効的であった。
- ②現場職員向けの「リスクマネジメント勉強会」「危険予知訓練」「事故報告書の書き方」を事故対策委員会にて、開催し職員の教育訓練を実施した。
- ③事故報告書作成と同時に病院受診ケースは行政報告書を速やかに作成提出した。

令和6年度 ヒヤリハット・事故報告書分析



ヒヤリハット報告書月平均 15 件・事故報告書月 4 件 全体的にヒヤリの件数が多い月は事故の件数が少ない、ヒヤリハット意識を高めることで、更なる事故予防対策に繋がることがデータで示された。

2. 健康管理の強化と感染症予防及びまん延の防止予防措置

達成率 90%

- ① 入院者のデータ分析を行い、予防対策を強化した。
- ② 健康管理を中心に安心・安全な生活環境の取り組みを行った。
- ③ 感染症対策マニュアルの見直しを行い、啓蒙活動を図った。
- ④ 新人職員や中途採用職員対象に、感染症予防の教育訓練を実施した。
- ⑤ 感染症の予防及びまん延の防止の対策の指針の整備、定期的な研修及び訓練・委員会の開催等を実施した。

3. マネジメントシステムの運用と改善

達成率 90%

- ①業務の効率化を図る（業務改善）
 - ・令和7年2月よりオムツ業者へオムツ管理業務を移行したことで、居室の環境整備が強化できた。
- ②コスト管理（オムツ・光熱費・消耗品）
 - ・財務管理（収支の管理等、データ分析）の実施
- ③夜勤勤務体制の見直し（業務時間・休憩）職員の働きやすい環境の構築と16時～17時間の職員配置（増）により利用者の安心安全に繋がった。

4. 身体拘束廃止・虐待防止の徹底と管理

達成率 100%

- ①身体拘束委員会主催の勉強会を定期実施した。
（身体拘束とは、・認知症利用者への対応・スピーチロック等）
- ②身体拘束廃止委員会と連携し、身体拘束の現状把握及び発生時は改善に向けてのモニタリングを行い解除に向けた取り組みを実施した。
- ③虐待防止のための対策を検討する委員会を定期的に開催し周知徹底を図った。
- ④従業者に対し、虐待の防止のための研修を定期的に実施した。
- ⑤指針の整備、定期的な研修・委員会を実施した。

5. 余暇活動の充実

達成率 96%

- ①余暇活動内容を準備し余暇活動の充実を図った。
- ②家族や入居者のニーズに合わせ外出支援を行った。
- ③年間イベントを計画的に開催し入居者様の楽しみ作り日々の充実に繋げた。

6. 人材育成と資格取得支援

達成率 96%

- ①年間教育訓練計画書に基づき研修会へ参加・個別指導を行い能力向上の支援を行った。
- ②職員としての自覚と知識を深め、専門知識を常に研鑽し、自己啓発に努めた。
- ③資格取得に向けた取り組みを支援した。
 - ・介護福祉士 1 名資格取得

7. 顧客満足度の向上

達成率 98%

- ①利用者や家族の要求事項について、可能な限りの取り組みを実施した。
- ②苦情処理委員会にて苦情内容の改善活動を実施した。

8. 家族会との連携

達成率 90%

- ①家族会への支援と連携強化を図った。
- ②入居時に家族会の目的・活動内容を説明した。
- ③有料老人ホーム鏡原偕生園の施設行事や活動内容の写真等をホームページ・ブログ掲載し家族との情報共有を図った。
- ④家族来園時、利用者の日々の様子や状態を説明し、サービスの向上に繋げた。

9. 認知症ケア

達成率 90%

- ①事業所は認知症のある利用者の個性を尊重するケアの取り組みを行った。
- ②利用者に対する認知症ケアの方法等について、養護者に情報提供し、共に総合的なアセスメントを踏まえ本人の自由意思を尊重したケア（パーソン・センタード・ケア）を実践した。
- ③利用者の現在の生活やこれまでの生活について知り、一日の生活リズムや本人のペースを踏まえた臨時対応な支援を行った。
- ④従業者に対し、認知症ケアに関する研修計画を作成し、当該計画に従い、研修を実施した。
- ⑤認知症介護実践者研修 2 名・認知症介護実践リーダー研修 1 名受講し有資格 3 名専門的スキル保有者となり、職員へ伝達研修を実施し、認知症利用者様への質の高いケア繋げた。

10. 事業継続計画（BCP）

達成率 90%

目的：いつ起こるかわからない災害に対して、有料老人ホーム鏡原偕生園に従事する職員の防災知識の向上を図るとともに、利用者・職員及び地域住民の生命

を確保する為の防災処置の習得を図るためマニュアルを作成・教育を行った。
(基本方針)

①入居者全確保

- ・入所者は重症リスクが高く、集団感染が発症した場合、深刻な被害が生じるおそれがあることに留意して、感染拡大防止に努めた。

②サービスの継続

- ・入居者の生命、身体の安全、健康を守る為に最低限必要となる機能維持をはかった。

③職員の安全確保

- ・職員の生命を守り、生活を維持しつつ、感染拡大防止に努めた。

④消防訓練：年2回開催（夜間想定・日中想定）定期訓練を実施した。

- ・火災発生時に消防隊が現地に到着するまでの間、効果的な消防活動ができるよう塾練しておくことを目的とし、避難勧告の伝達、避難者の人数確認、安全な避難方法の役割分担、避難経路の確認・訓練を実施した。

11 協力医療機関

達成率 98%

①協力医療機関連携構築

施設は、主治医との連携を基本とし、利用者の病状の急変時に備えるため、あらかじめ、協力医療機関を定めた。

- ・利用者の病状の急変が生じた場合等において、医師又は看護職員が、相談対応を行う体制確保した。
- ・協力医療機関との実効性ある連携を構築する為、入居者の現病歴等の情報共有を行う会議を定期的で開催連携した。

（入院、受診時情報共有・退院カンファ・往診時定期カンファ等）

医療機関名	住所	電話番号
友愛会医療センター	豊見城市字与根 50 番地 5	098-850-3811
小禄病院	那覇市小禄 547 番地-1	098-857-1786
前島歯科	那覇市小禄 546-2	098-857-3710

往診医療機関

ゆずりは訪問診療	那覇市首里 3 丁目 32	098-885-7001
はいさいクリニック	那覇市泊 2 丁目 18-11	098-860-1813
ふうりん訪問診療	那覇市泊 1-6-1-204	098-960-4109
小禄訪問診療	那覇市小禄 547-1	098-857-1805
とよみ生協訪問診療	豊見城市字真玉橋 593-1	098-850-7955
おもろまちメディカル 訪問診療	那覇市上之屋 1-3-1	098-867-2116

12. ハラスメント対策

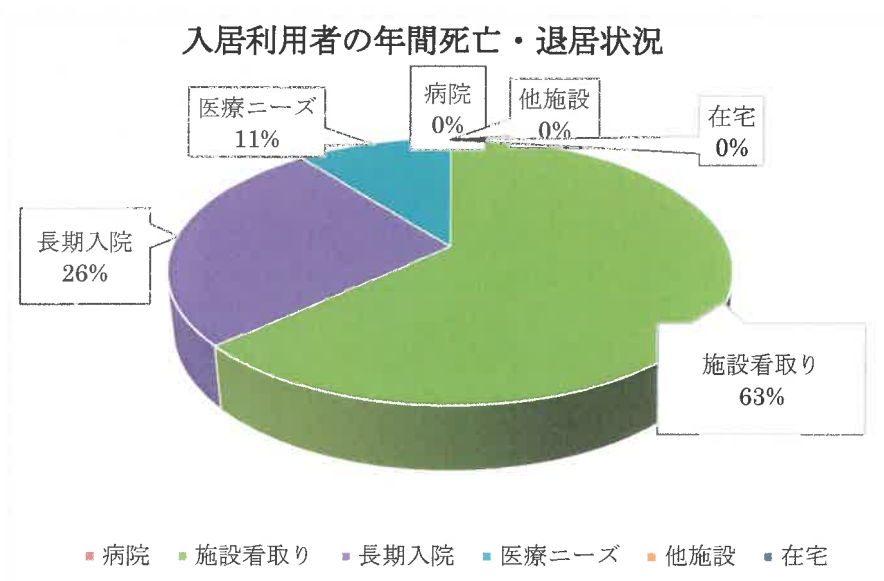
達成率 100%

- ①利用者に対してより良い介護サービスを提供できる環境を確保するとともに、介護現場で働く職員の安全を確保し、安心して働き続けられる労働環境を築くことを目的に指針を整備した。
- ②ストレスチェックを実施し、必要者には、有資格者より個人面談を行った。
結果：高ストレス者無 職員の満足度が離職率低下に繋がっている。

13. 施設内看取り介護実施

達成率 100%

- ①看取り介護の視点（身体的、精神的苦痛、苦悩をできるだけ緩和し、死に至るまでの期間、その方なりに充実して納得して生き抜くことができるように日々の暮らしを営めることを目的として援助した。
- ②利用者に対する具体的支援、方法、看護処置・介護ケア等・主治医と連携を図り対象者の尊厳に充分配慮しながら終末期の介護について心を込めて実施した。
- ③夜間緊急時の連絡と対応について
家族・看護師・主治医との 24 時間連絡体制を確保した。
- ④グリーフケアの実施
大切な人を亡くした家族・遺族の精神的サポート、職員も含め心のケアと今後の看取りケアの糧に繋げた。



分析結果

施設入居者様の年間死亡退去状況分析では、全体の半数以上は施設内看取りを実施している

死亡・退居 状況令和6年4月～令和7年3月期間

場所／月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
病院	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施設看取り	1	0	1	3	1	0	1	1	0	0	2	0	12
長期入院	0	1	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0	5
医療ニーズ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
他施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
在宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	3	2	3	1	1	1	2	0	1	2	1	20

分析結果

月別死亡退所状況では、12月以外毎月死亡・退居がある状況であり、多い時5月7月は各3名の死亡退去状況となっており、7月においては、3名の施設看取りとなっている。

このことから、入居者の大半医療ニーズが高い高齢者が入居していることが、示された。

※入居待機者確保が重要不可欠となる。

【入居者状況】令和6年4月～令和7年3月（1年間：統計）

性別	男性	20%
	女性	80%
年齢別	65歳未満	1.8%
	65歳以上75歳未満	9.2%
	75歳以上85歳未満	18.5%
	85歳以上	70.5%

要介護度別	男女別	男性	女性	計
	要支援1	0人	0人	0人
	要支援2	0人	0人	0人
	要介護1	0人	2人	2人
	要介護2	0人	4人	4人
	要介護3	3人	10人	13人
	要介護4	5人	23人	28人
	要介護5	3人	4人	7人
	合計	11人	43人	54人
入居期間	6カ月未満			10人
	6カ月以上1年未満			10人
	1年以上5年未満			32人
	5年以上10年未満			17人

	10 年以上 15 年未満					3 人
	15 年以上					0 人
退居者状況 (退居理由)	死去	長期入院	医療ニーズ	他施設	在宅復帰	看取り
	1 人	5 人	2 人	0 人	0 人	12 人

事業計画に対する達成率

	処遇計画	達成率	平均
1	事故防止の徹底と管理	100%	95%
2	健康管理の強化と感染症予防及びまん延の防止予防措置	90%	
3	マネジメントシステムの運用と改善	90%	
4	身体拘束廃止・虐待防止の徹底と管理	100%	
5	余暇活動の充実	96%	
6	人材育成と資格取得支援	96%	
7	顧客満足度の向上	98%	
8	家族会との連携	90%	
9	認知症ケア	90%	
10	事業継続計画 (BCP)	90%	
11	協力医療機関	98%	
12	ハラスメント対策	100%	
13	施設内看取り介護実施	100%	

まとめ

毎月の月次報告書にて、処遇計画内容を確認し実施評価を行った。

達成率も平均 95% と高く、職員の離職率も低いことから職員満足度も高くそのことが、ケアの質及び入居稼働率 97% の安定に繋がっていることが推測できた。

以上